

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

2009年10月10日

No 262

発行者 ELIC編集委員会谷口利男
108-0073 東京都港区三田3-2-20
(03)3455-6006 Fax3451-3595
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

ELIC

1部100円

切実な諸要求の実現をめざす



電機労働者懇談会（電機懇）の第22回総会は、9月12日～13日の両日にわたり、愛知の形原温泉鈴岡ホテルにおいて開催しました。来賓挨拶は、全労連の小田川義和事務局長、愛労連の樽松（くれまつ）佐一議長に行なってもらいました。総会には、日立・東芝・三菱電機・パナソニック・三洋電機・シャープ・NEC・富士通・沖電気・富士電機・安川電機など17企業（関連会社を除く）と5団体から93名が参加しました。

総会では25名が討論に参加し、派遣切りと闘っている労働者の訴え、事業統合や09春闘逆提案との闘い、労組の役員選挙や継続雇用での前進、株主総会の取り組みなどの闘いが生き活きと発言されました。

労基法の基準まで引き下げられた労働条件や将来不安が増大している今日の職場の現状は、まさに「電機懇」の出番であることが改めて認識され、諸要求の実現をめざして奮闘することの決意を固めました。

今月号の紙面

- ①電機懇第22回総会を開催
- ②主催者挨拶と来賓挨拶
- ③来賓挨拶と議案内容報告
- ④～⑧全体討論「発言要旨」
- ⑨討論のまとめ、役員紹介
- ⑩私の自慢「歌を友に」田中氏
- ⑪電機ユニオン、青年コーナー
- ⑫三洋電機懇、OKIセミ役選
高見澤争議行動、集積回路